

現代経営学応用研究(日本経営品質賞)

担当：長友隆司（関西経営品質賞制度委員、日本経営品質賞指定講師）

1. 講義の目的

企業評価法としての経営品質をご理解いただきます。そのために企業の実際の経営品質報告書をもとに模擬的な審査プロセスをご経験いただき、評価を定め、対象企業様への評価結果のフィードバックを行っていただくことを通して、企業の経営実態をどのように評価し経営革新をどのように誘発していくのかということについてご理解をいただきます。

2. 事前にご準備いただくもの

①日本経営品質賞アセスメント基準書（1,100円）

アセスメント基準書については「カテゴリー・サブカテゴリー一覧」はお読みいただく必要はありませんが、その他のページについては事前に目を通しておいて下さい。詳細については第1回講義でご説明をいたします。

【書籍版】 <https://bookstore.jpc-net.jp/detail/books/goods004012.html>

【PDF版】 <https://shop.deliveru.jp/download/iv5j7dnc/>

※PDF版の購入には会員登録が必要となります。

②事務局を通してレックス工業様（今回、模擬審査を行うにあたって経営品質報告書簡易版をご提供いただきました）の経営品質報告書を講義前までに配布しますので、事前にしっかりお読みください。

3. スケジュールと実施内容

本講義はすべてオンラインで実施します。

以下、各回の講義内容と簡単なスケジュール等です。

第1回：10月22日(金)

① 経営品質の概略についてご説明いたします。

② 経営品質の審査プロセスについてご説明いたします。

時間) 20:00～21:30

③ 今回、経営品質報告書をご提供いただいたレックス工業様より企業概要についてのご説明をいただきます。

時間) 18:20より19:50

④ 次回までの課題

レックス工業様経営品質報告書をもとに、各自で個別審査を実施してください。次回以降、審査チームを編成していただいた上で、チームとしての合議を行っていただきます。個別審査として作成していただくのは、審査を進める上で当該企業が現在の成功に至っているビジネスモデル上の長と今後さらに発展するためには何が必要と考えるかの審査仮説、その審査仮説にもとづくカテゴリーごとの評価（強み、改善領域、評点、評点根拠、対象企業に確かめたい質問など）を行っていただきます。

通常の審査では審査帳票はワードで作成されていますが、今回は講義の中で発表や合議のためのディスカッションなどを行う関係上、パワーポイントを使って作成してください。以降、合議審査、最終審査報告を行うためのフィードバックレポートについても同様にパワーポイントで作成してください。

個別審査の内容については次回講義の前日までにご提出をお願いします。個別審査が十分にできていないと次回以降、予定している合議審査がうまく進まなかったり、他のメンバーの学習を阻害する恐れがあります。どうぞ個別審査をしっかりとこなっていただきますようお願いをいたします。

ご提出の状況によっては次回以降の審査プロセスへのご参加をお断りする場合がありますので、ご注意ください。

第2回:10月29日(金)

① 審査チームの編成

5名程度で審査チームを編成していただきます。チーム編成は事務局よりいただく名簿にもとづき編成をさせていただきます。編成内容は当日までにみなさんにお知らせをさせていただきます。

審査チームの編成が終わったら、各チームで話し合っ、チームリーダーと各カテゴリーの担当を決めてください。これ以降、カテゴリー評価は分担して行うことになります。

② 審査仮説の合議

合議審査を始めるにあたって、各自が作成した個別審査における「審査仮説」につき、チームとしての合意をまとめていただきます。その合意に基づき、各カテゴリーについてのご評価を定めていただきます。

審査仮説についての十分な合意ができていざと、その後の審査過程で議論の蒸し返しなどが起こり審査そのものが破綻をきたす恐れがあります。どうぞ確実な合意を取りながら審査プロセスを進めてください。

③ カテゴリー評価

各カテゴリーにおける強み、改善領域を数項目づつまとめていただき、評点、評点根拠について合議をしていただきます。

各カテゴリーの審査を進める中で、対象企業様に質問をしたい、実際にどうなっている

のか確認をしたいということが起こります。

実際の審査では現地審査と呼ぶステップの中で、対象企業への質問や現地での資料確認、実際のようなすを拝見するなどを行います。今回の場合、模擬的に審査プロセスをご理解いただきいておりますので、講義の中で対象企業様への質問を行い、審査内容の修正を行っていただきたいと思っております。

各カテゴリーの評価が定まったら、ここまで進めてきた合議内容にもとづき、対象企業様への質問を作成していただきます。

質問については次回講義にレッキス工業様にご出席いただき、ご回答をお願いしております。

この段階での審査内容は対象企業への質問に対する回答状況によっては大きく変わる可能性があります。いわば仮評価の状況ですので評価内容についてご提出いただく必要はありません。

④ 発表及び質疑

時間の関係上、すべての審査チームにご発表いただくのは難しいと思われまますので、いくつかのチームに進捗状況、対象企業様への質問内容のいくつかについてご発表していただき、クラス全体で質疑を行いたいと思っております。

⑤ 対象企業への質問状の提出

本来、対象企業様に作成した質問状は現地審査内容として事前にお届けします。

通常審査であれば2週間前に企業様のお手元に届くようにしますが、今回は次回講義の前々日までにご提出ください。当方で取りまとめ対象企業様に前日までにお届けいたします。

第3回:11月5日(金)

① 対象企業様への質問 (18:20~19:50)

今回、経営品質報告書をご提供いただいているレッキス工業様へ現地審査としての質問を行っていただきます。

レッキス工業様には前日までに各審査チームからの質問状をお届けしてありますので、それをもとに何チームから質問を行っていただきます。

② 最終審査

対象企業様への質問を通して、各審査チームの審査内容を修正していただきます。その上で審査総括を作成していただきます。

審査総括の作成方法・書式については当日、ご説明をいたします。各カテゴリーの強み・改善領域への指摘、評点、評点根拠、審査総括をとりまとめチームとしての最終審査結果をおまとめいただきます。

③ 審査結果の提出

各審査チームでおまとめをいただいた最終審査結果（フィードバックレポート）は次回講義日の3日前までにご提出をいただきます。講義日2日前に対象企業であるレッキス工業様に審査内容をお届けします。

次回、講義までにレッキス工業様に発表チームを数チーム選定していただきます。

第4回:11月12日(金)

① 発表チームの指名

レッキス工業様から審査結果をご発表いただくチームを指名していただきます。

② 審査結果の発表及び講評（18：20～21：30）

対象企業様から指名をいただいた審査チームは審査結果（フィードバックレポート）についてのご発表をお願いします。

総合評点、審査総括、各カテゴリー評点、評点根拠、強み、改善領域の順でご発表をお願いします。企業側からご質問などがあると思いますので、それらにもお答えし自チームの審査での見方、考え方などをご説明してください。

③ 全体講評

本講義を通してお取り組みいただいたことについて簡単なご講評をさせていただきます。

以上が講義全体の大まかな流れです。具体的な進め方についてはそれぞれの講義で詳細をご説明いたします。

4. 評価

①個別審査、合議審査、対象企業への質問、最終審査の各ステップでの提出物。各講義での発表内容などをもとに評価を行います。

②特に最終審査については、今回、経営品質報告書をご提供いただいたレッキス工業様とご相談の上、フィードバックレポートの内容をもとに評価に反映させていただきます。

以上